

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス森の妖精			
○保護者評価実施期間	2026年1月15 日		～	2026年 2月10 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数)	20人
○従業者評価実施期間	2026年 1月15 日		～	2026年 2月1 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラム内容の充実	活動内容について特定の分野に偏らないように職員全体で検討しチームで立案している。専門的視点と現場での気付きを共有しながら多面的、バランスの取れた活動プログラムの立案・実施に努めている	職員間での振り返りや情報共有を強化しお子様1人1人に合ったニーズをよりしっかり把握しより実情にあった支援内容へと発展させていく
2	幅広い年齢層の児童が在籍している	幅広い年齢層の児童と交流できる環境にありお友達から刺激を受けたりまた思いやりを持って関わる中で社会性又は協調性の役割を自然に育むことが出来多様な関わり経験を大切にしている	事業所内での関わりに留まらず地域行事や外出活動も取り入れながら多様な環境の中での体験を通して、社会性やコミュニケーション力の育成に繋げていく

3	職員間での連携体制が良好	日々のミーティングやケース検討を通して情報共有を行い職員が一人で抱え込まない環境作りを意識しチームで協力しながらお互いの強みを生かせるように役割を分担して業務に当たっている	風通しの良い職場環境を維持すると共に役割分担の明確化人材育成を進め、継続的な支援体制の確立を目指す
4	幼老ケアへの取り組み	季節の行事を世代を超えて楽しめる内容を計画している事前に子供たちへ伝え準備を行うことで配慮の届いた交流が出来る環境作りを心がける	双方の体調不良や状況に配慮する必要がある実施頻度の安定が図りにくい面がある活動内容の振り返りを行いより双方にとって意味のある交流となるように工夫を重ねていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の皆様同士の関わり	送迎車で送迎や就労状況などにより自然な交流の機会が少な い事が要因と考えられるまた、事業所として保護者交流の場十分に設けられていない点も課題である	保護者の皆様同士の交流については参加に対する考えも様々である事を踏まえ希望に応じた形で無理のない範囲で検討していく
2	地域住民、子ども達との関わりが希薄	長期休暇等では公共施設、公園、店舗の利用等にて地域の住民 子ども達と関われるが平日の支援では事業所内中心となっている事から交流機会が十分と言えない点	平日に於いても地域の子どもや住民との関わりを広げるため事業所内に留まらない活動の機会を安全に考慮しながら段階的に増やしてしていけるとよい

3	事故対応、災害対応等の緊急時対応マニュアルは整っておりマニュアルに応じた訓練を行っているが保護者の皆様への周知が出来ていない	マニュアルに沿った定期的な訓練を実施しているが保護者の皆様への周知方法については改善の余地が有ると感じる	分かりやすくフローチャート化した資料配布や不安点についての把握を進める訓練実施時にはHPにて情報発信など通じて保護者の皆様への周知の充実を図るように努める
---	--	--	---